

京丹波町における須知高校のあり方懇話会（第1回）

会議概要

日 時 令和5年7月26日（水） 午後5時00分～午後7時00分
場 所 京丹波町本庁2階大会議室
出席委員 井戸仁委員、西田大樹委員、中西和之委員、亀田奈津子委員、上林太志委員、
溝上真吾委員、坂本正義委員、谷口恭子委員
欠席：村山智広委員
オブザーバー参加：アズビル京都㈱ 横山氏

1 開会

2 委嘱状の交付

溝上委員（代表受領）

3 町長あいさつ

・梅雨も明け、猛暑の中、また、大変お忙しい中、ご出席賜り感謝いたします。委員をお引き受けいただき、御礼申し上げます。現在、町政懇談会を開催しておりますが、参加者から須知高校への想いをお聞きしております。京丹波町の出生数は減少し、他の高校へ進学もあり、厳しい状況にあります。須知高校は町立高等学校との気持ちで関わってきており、私自身、家族4代がお世話になってきた。生徒の皆さんは町の将来の担い手であり、大切な教育機関だと認識している。この懇話会では、町と地域、企業と共に、今の時代に合うアイデア、ヒントを一緒に話し合い、須知高校を持続可能にするとともに、町づくりの施策に繋げていきたいと考えている。

4 委員等紹介（自己紹介）及び座長の選任

- ・井戸委員が座長選出
- ・井戸座長あいさつ

私は昨年度まで蒲生野中学校の校長、その前は3年間須知高校の副校長としてお世話になっておりました。平成27年度に京丹波町における須知高校のあり方懇話会を創設したときは、子どもの少ない町の現状や町の唯一高校の宝を活性化させていくのかについて議論を行った。今回の懇話会は、8年間が経過し、情勢も変わり、少子化の波も大きく変わってきている。その中でも高校づくり、まちづくりについて新たな視点を加えるために、企業やPTAの皆さまからご意見を聞き取り、持続可能な須知高校に向けて考えていきたい。

5 京丹波町における須知高校のあり方や活性化対策について

- ①京都府教育委員会高校改革推進室の橋長室長より、京都府における魅力ある府立高校づくり懇話会の概要等について説明
- ②坂本委員より、須知高校の現状と課題について説明
- ③事務局より、懇話会の進め方等について
- ④質疑及び意見交換

座長：府立高校の須知高校の現状の理解を軸にご説明をいただきました。皆さまの意見や感想をお聞きしたい。

委員：須知高校は、以前と比較し、人口減少などにより元気がないと感じていた。ご説明を聞くことで現状を理解したところ。須知高校卒業生は社内にも多くおり、一企業として何ができるのか具体的な対応策を検討していきたい。また、就職された方々を見ると、会社と家族が何かしら関係していることが多い。

委員：現状をご説明いただき、深く知ることができた。例えば子どもが須知高校に進学したいと考えたときには、安心して背中を押してやれると感じた。親が子どもに求める教育の在り方を考えていきたい。

委員：須知高校の情報発信については、インスタで小さなことでも発信している。京都新聞社や広報、ケーブルTVでも掲載していきたい。

委員：歴史や地域文化についての視点が弱く、高校の魅力の発信に偏った考え方をしている。真似できないものがあるのだから訴えていく必要がある。また、持続可能の考え方は守りであり、活性化が攻めの考え方と思っている。須知高校が無くなったらかどうするのかから遡って逆転の発想が必要となる。移住者からは須知高校のことを聞かれるほど、里山のある高校は珍しい、魅力のある高校だと思う。町は130万円の交付金を拠出しているが、今後のことを真剣に考えるべき。

委員：ホッケー人口を減っているが、今年もインターハイに出場できた。地域ぐるみの支援のおかげで実績を積み重ねてきた。質問となるが、須知高校を持続可能なものとするため、いろいろな意見を集約し、一定の答えが出てきて府の計画に反映されるのか。

座長：この懇話会での意見を集約し、町へ提言を行うこととなる。府の計画をまとめる前に町として当会の意見を京都府へ報告することを予定している。

委員：中学生3年生の息子がいる。息子は、高校のインスタをフォローしていない。在校生の校内活動のインスタの発信を見て高校の取り組みを知るし、学校側で興味をもってもらえるような取り組みができればと思っている。

委員：小中高の交流の場が少ないので、交流の場を持ち、友達と先輩がいるから入学するような大事される高校になってほしい。

委員：進学を考えるにあたって、3年前から須知高校セミナーを実施。中学生と在校生が本音でトークできる交流の場を設けている。このような懇話会でも当事者の中高生が関わると風穴が空くかもしれない。中学生は、行きたいか通いやすいの2択の場合は、行きたい高校を選ぶ。遠くてもバスに乗って京都市内へ行くエネルギーがある。高校生がその高校が楽しいと言えば、中学生に対して入学の引力が生まれる。若い子どもたちが、町に明るい未来を感じられないといけない。地元の良さを気付かないといけない。歴史、文化、魅力に気づく、仕掛けを探ることが大事だと思う。

6 今後のスケジュールについて

- ・次回懇話会について、8月28日（月） 午後5時を予定。

7 閉会